

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
経済 (29)	マクロ	5	積極財政（反緊縮）政策を採るべき、MMT(現代貨幣理論)の研究を、先進国に戻るため新所得倍増計画をぶち上げよ、新型コロナ対策と政府負担	ご意見として承りました。 ・新所得倍増計画については、1/26衆議院予算委員会で馬場幹事長が「新・所得倍増計画」を訴える旨、発言しております。 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353883937148334080?s=20 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353884049715027968?s=20 ・3/25付「新型コロナウイルス対策に関する提言（第3弾）」でG7世界標準の金融・財政政策の出勤を申し入れております。 https://o-ishin.jp/news/covid19-measures/pdf/n-pdf03.pdf また新型コロナウイルス感染症等による経済活動への影響に対する当面の対策として消費税減税特例プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出しております。これは2年間を目途として消費税を一律5%とし、特例期間終了後も経過的に8%とするものです。本国会（第204回通常国会）でも提出予定です。 https://o-ishin.jp/news/2020/images/a6b860a56b0ee1e88fae3b43178f526db614135a.pdf
	金融	1	規制緩和の行き違い FX見直しを	ご意見として承りました。
	税制	4	当面消費減税（5%）を目指せ、消費税は公平な税制、デジタル課税、環境課税	ご意見として承りました。 ・消費税については、政策目安箱はじめ皆様からのご意見が後押しとなり、新型コロナウイルス感染症等による経済活動への影響に対する当面の対策として消費税減税特例プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出しております。これは2年間を目途として消費税を一律5%とし、特例期間終了後も経過的に8%とするものです。本国会（第204回通常国会）でも提出予定です。1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が質問しております。 https://o-ishin.jp/news/2020/images/a6b860a56b0ee1e88fae3b43178f526db614135a.pdf ・税制についてはさる参議院選マニフェストで「簡素、公平、活力の税制」を訴えております。
	マスコミ	5	マスコミが海外情勢など報じない、マスコミ不信、親中派メディア、医師会に対する報道を	ご意見として承りました。
	放送・通信	6	NHK割増法案反対、NHK受信料の郵便局による取り立て反対、民営化を、	ご意見として承りました。 ・さる参議院選マニフェストではNHKについて公共性の高い分野を無料化し、有料分野はスクランブル化及び有料配信アプリを導入することを訴えております。加えて2020年3/19衆議院総務委員会NHK予算に関する質疑で足立康史議員が「放送と通信が融合する時代の公共メディアとしてのNHKの姿が見えない」こと、公共性の高い分野以外を民営化すべきではと質問しております。
	エネルギー	1	廃プラから再製油を	ご意見として承りました。
	観光			
	環境・農業	1	カーボンニュートラルで経済失速	ご意見として承りました。 ・さる参議院選マニフェストでは「脱炭素社会の推進」を訴えており、1/22参議院本会議の片山虎之助共同代表の質問で「カーボン・ニュートラルは世界の潮流であり、方向性としては賛成。」としております。
	温暖化			
	交通・住宅	4	住宅ポイント制度とグリーン住宅ポイント制度の狭間に契約した者の救済を、燃料電池車・低床バスの導入を	ご意見として承りました。
RCEP				
その他	2	ぼったくり業者をなくして、物流のリスクアセスメントの必要性	ご意見として承りました。	
社会保障	4	社会福祉士、家庭内介護の問題、ベーシックインカムで厚生年金も廃止になって毎月6万円になるのか、国民皆保険制度	ご意見として承りました。 ・ベーシックインカムについて検討を進めている内容は基礎年金部分をベーシックインカムに吸収するものです。報酬比例部分は維持します。12/29付「維新でGo!」で説明しております。ぜひご覧ください。 https://www.youtube.com/watch?v=nCuDVDsMhzY	

政策目安箱ご意見（2021年1月前半分）

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
社会 (19)	医療	3	献血、医師の6割 法令で義務づけの線量計装着せず、感染症対策を鑑み（大阪）医療従事者の育成を	ご意見として承りました。 ・我が党が与党である大阪では、2022年に大阪公立大（仮称）が誕生する予定です。医学部、看護学部、獣医学部を有するこの大学では医療従事者の育成はもちろん、医学・獣医学の連携で感染症対策の確立につなげていきます。 https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/research/
	労働	2	中小企業に退職金制度加入義務化推進を、新卒者の雇用と「第二の就職氷河期世代」のような事態発生防止を	ご意見として承りました。 ・新卒者の雇用、公的に救済される雇用政策と「第二の就職氷河期世代」のような事態発生防止をとのご意見を頂戴しました。まず、新型コロナウイルス感染症等による経済活動への影響に対する当面の対策として消費税減税特例プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出しております。これは2年間を目途として消費税を一律5%とし、特例期間終了後も経過的に8%とするものです。本国会（第204回通常国会）でも提出予定です。1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が質問しております。 https://o-ishin.jp/news/2020/images/a6b860a56b0ee1e88fae3b43178f526db614135a.pdf 加えて1/26の衆議院予算委員会では、第3次補正予算案が緊急事態宣言の再発令を前提に編成されたものではないことから年度内に緊急に実施する必要のないものが多く入っていた為、事業者支援やひとり親支援、学生、休業者支援を拡充する編成替えを求むる動議を提出しました。 さらに同委員会で馬場幹事長が「新・所得倍増計画」を訴え、国民のみなさまが夢や希望をもてる議論をしていきたい旨、発言しております。 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353883937148334080?s=20 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353884049715027968?s=20
	外国人	1	外国人犯罪者を本国の刑務所へ移送可能とする法律および条約の作成、在留外国人の政治活動の禁止を	ご意見として承りました。
	児童虐待			
	少子化			
	不妊治療			
	動物愛護			
	保育	1	こどもの食・給食について	ご意見として承りました。
	教育・研究	3	学校給食においてもこども食堂的な役割を、在宅教員制度を、学振特別研究員の補欠者全員採用を	ご意見として承りました。
	法務	2	嫡出子と婚外子の相続割合を同等とする民法改正の再改正を、戸籍乗っ取り（背乗り）の注意喚起を	ご意見として承りました。
人権	1	共同親権・桜の会について	共同親権を主張するにしてもDVが無いことを前提にするなどの条件が必要だと思うのご意見を頂戴しました。共同親権について法務委員会で議論してきた串田誠一衆議院議員は当初からDVの対策は十分に行わなければならないし、共同でこれを行うということは、そういうことができ得るような状況になっていなければならない、この対策を十分政府はとってほしいと何度も繰り返して議論をしております。令和元年10月23日の衆議院法務委員会でも明確にそのことを述べております。	
その他	3	大手ソーシャルネットワークによる言論の検閲が激化、テレビ離れ対策	ご意見として承りました。	
外交	防衛	1	台湾・ベトナム・インドと軍事同盟を	ご意見として承りました。
	米国	2	米内戦の恐れ、トランプ大統領の病状、トランプ大統領が南沙諸島などで攻撃命令を出す	ご意見として承りました。
	韓国	5	韓国への反感、韓国との外交、慰安婦問題	ご意見として承りました。
	北朝鮮	2	北朝鮮の謀略と経済、二階氏と北朝鮮	ご意見として承りました。

政策目安箱ご意見（2021年1月前半分）

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
(13)	中国	2	日本人が中国でスパイ行為に関わったと有罪になっている、沖ノ鳥島の防衛を	ご意見として承りました。さる参議院選マニフェストで「現実的な外交と安全保障政策を展開する」ことを謳っております。
	ロシア			
	台湾	1	台湾との交流の深化を	ご意見として承りました。前国会（第203回）11/27参議院本会議で浅田均参議院議員が茂木外相に「台湾のTPP参加に対する日本政府の立場と協力の方向性」について見解を示すよう質疑を行っております。
	その他			
機構 (23)	皇室			
	憲法改正	1	国民投票法改正案と自民党改憲草案に抗議	ご意見として承りました。
	公務員改革	5	能力業績主義人事を無視するという参議院事務局の不文規制の即刻廃止・幹部職員人事・能力業績が評価されている職員の抜擢を、公務員の給与・ボーナス削減を、警察の違法情報利用の防止を	ご意見として承りました。 ・国会議員に関して11/27に議員期末手当削減法案を参議院に提出し、当分の間、3割削減を求めています。 https://o-ishin.jp/news/2020/images/506160be42c4dcf192be81ffa931d072eb0c5198.pdf 維新としては所属議員が削減した議員歳費分を一旦党に寄付し、党から9/10に済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしました。期末手当についても同様に手続きを進めております。 https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html
	選挙	5	緊急事態宣言発出中の政治活動、条例で認められている時間の前の拡声器使用	ご意見として承りました。
	地方行政	6	広域行政一元化条例案の廃案を、緊急事態宣言を出す必要はないのでは、大阪府内の成人式の中止を、大阪湾岸警察署、大阪府市のコロナ対応（補償なし自粛、検査抑制、病院再編・統合）	ご意見として承りました。 ・我が党が与党である大阪では、緊急事態宣言が発令されたことを受け、営業時間短縮の要請に全面的にご協力いただいた飲食店等に対し、新型コロナウイルス感染症の再拡大防止及び事業継続を目的に（仮称）大阪府営業時間短縮協力金を支給します。 http://www.pref.osaka.lg.jp/shokosomu/eigyozukantansyuku/index.html PCR検査に関しては、より簡便で効率的に検査を受けられる高齢者施設「スマホ検査センター」を開設し、初動対応につなげていきます。 http://www.pref.osaka.lg.jp/chiikifukushi/coronafukushi/index.html 病院再編・統合については平成27年9月3日市長会見（当時吉村市長）で役割分担と機能強化を行なっている旨説明しております。 https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000349803.html
機構その他	6	地方議会の懲罰について、首相官邸の意見受け付け、内務省の復活を、議員の文通費・政務調査費・ボーナスをコロナ対策に、国民に総理のリコール権を、衆参定数減・選出方法の変更	ご意見として承りました。 ・国会議員に関して11/27に議員期末手当削減法案を参議院に提出し、当分の間、3割削減を求めています。 https://o-ishin.jp/news/2020/images/506160be42c4dcf192be81ffa931d072eb0c5198.pdf 維新としては所属議員が削減した議員歳費分を一旦党に寄付し、党から9/10に済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしました。期末手当についても同様に手続きを進めております。 https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html ・憲法67条に総理は国会の議決で指名するとあり、総理の解職請求投票のような制度を設けるとすれば憲法改正が必要になると考えます。現状維新は「教育無償化」「統治機構改革」「憲法裁判所設置」の3項目に絞った憲法改正原案を国民の皆様にご提案しております。 https://o-ishin.jp/news/2017/images/90da581ba24723f77027257436ab13c1cec1a1ed.pdf ・我が党の基本方針では将来的に一院制（衆参統合）を謳っておりますが、まずは参議院と衆議院の差別化を図ることが必要と考えており、参議院の議員選出のあり方を見直す方向で党内議論を深めております。2018年7月には参議院に「参議院選挙制度改革法案」を提出しました。これは参議院の定数削減の上、全国を11ブロックに分け選出するものでした。また、さる参議院選マニフェストには自治体首長と参議院議員の兼職禁止規定の廃止を掲げました。 定数については参議院が定数6増していることから、前国会（第203回）11/26に定数6減を行う「公職選挙法の一部を改正する法律」を参議院に提出いたしました。	

政策目安箱ご意見 (2021年1月前半分)

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
党関連 (15)	党全般	12	行政府チェック、現役世代向けの政策強化を、特措法改正のためすぐ国会開会を与党に働きかけよ、コロナ禍について維新の発信が話題にならない、現政権では今年中に全国民がワクチン接種可能は幻想、コロナで対案を、提案について、昨年12月に国会を延長しなかった	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現役世代向けの政策強化をとのご意見を頂戴しました。1/26の衆議院予算委員会で馬場幹事長が「新・所得倍増計画」を訴え、国民のみなさまが夢や希望をもてる議論をしていきたい旨、発言しております。 <p>https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353883937148334080?s=20 https://twitter.com/osaka_ishin/status/1353884049715027968?s=20</p> <p>これは税制改革、社会保障改革、成長戦略により可処分所得の倍増をめざすもので、現役世代の活性化につながると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特措法改正を急ぐため即刻国会を開くよう自公に働きかけをというご意見ですが、1/6自公維国対委員長会談で遠藤国対委員長が「新型コロナウイルスの感染拡大が広まっている現状を受け、常会開催の前でも短期間で速やかに特措法改正を成立させるべき」との申し入れを行っております。 <p>https://twitter.com/osaka_ishin/status/1346703578329563137?s=20 https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/660230892</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策の対案については「新型コロナウイルス対策に関する提言書」を昨年2/3から今年1/5まで7弾に渡って政府に対し提出しております。 <p>https://o-ishin.jp/news/covid19-measures/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種体制・ロジスティックについては1/21の衆議院本会議代表質問と1/26衆議院予算委員会で馬場幹事長が、参議院では1/22の本会議代表質問で片山虎之助共同代表が質問しております。 ・政策目安箱へのご意見と党の対応についてはフィードバックのページを設け、お答えできる範囲でお答えしております。 <p>https://o-ishin.jp/news/feedback/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉会してしまったのご意見ですが、新型コロナウイルス対策の閉会中審査について遠藤敬国対委員長が12/2自公維国対委員長会談において「新型コロナウイルス対策の閉会中審査についての申し入れ」を提出、また12/3の与野党国対委員長会談でも申し立てしております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/12/02/10236.html https://o-ishin.jp/news/2020/12/03/10238.html</p> <p>また、閉会中も内閣委員会、厚労委員会、農水委員会、議院運営委員会が開かれ議論を行なっています。</p>
	候補者擁立関連	2	候補者擁立を（和歌山、兵庫9区）	ご意見として承りました。
	身を切る改革	1	国会議員の給与ボーナス削減を	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会議員に関して11/27に議員期末手当削減法案を参議院に提出し、当分の間、3割削減を求めています。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/images/506160be42c4dcf192be81ffa931d072eb0c5198.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/10には削減した議員歳費から済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしました。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html</p>
	コロナ全般	21	共通テストの延期を、使い捨て手袋、コンビニの建前上の対策、成人式、医療関係の協力を、まともな政策と手厚い補償を、自粛要請に従わない学生は奨学金支給停止、緊急事態宣言解除後にアプリを用いて飲食店の3密対策アピールを、寒さと湿度対策、休業要請をして感染症対策をした店等から休業要請を解除していく山梨方式の採用を、コールセンターにも時短要請を、飲食店への時短不要、悪いのはコロナで政府は被害者、感染症法で入院拒否の患者に刑事罰が検討され	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係の協力については、1/5の政府与野党連絡協議会で「新型コロナウイルス対策に関する提言第7弾」を提出しております。この中で特措法31条の改正に触れ、現行の「医療関係者」に加え「医療機関」も対象に入れて要請・指示・命令規定の新設を提言しています。また62条、63条を拡充し医療機関に対する十分な経営保障を行うよう提言しております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2021/images/teigen7.pdf</p> <p>これをもとに1/13衆議院内閣委員会（閉会中）で足立康史衆議院議員が、1/14参議院内閣委員会（閉会中）では高木かおり参議院議員がそれぞれ西村大臣に質問しております。</p> <p>本国会（第204回）開会後は1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が、参議院では1/22の本会議代表質問で片山虎之助共同代表が質問しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨方式採用についてのご意見がありましたが、「新型コロナウイルス対策に関する提言第7弾」の中で、緊急事態宣言発出前にクラスターが発生した施設に対して都道府県知事に・調査や措置が完了するまでの営業停止命令・立入検査規定・営業停止命令等を受けた事業者には相当額の補償金交付規定を設けよと提言しており、かなり近いと思われます。 ・感染症法の罰則については分類「特措法・感染症法」をご覧ください。

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
コロナ関連 (76)			ているなら感染防止のためにコロナ差別に対しても刑事罰を導入、給付に不公平感、無症状を含む感染者を外にださない事が必要であり軽い風邪症状でも病院に行く人を検査を、役人の話を聞くのもいいが羽鳥慎一モーニングショーのノーベル賞受賞者の意見も聞いて	・給付の不公平感については1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が、参議院では1/22の本会議代表質問で片山虎之助共同代表が質問しております。
	感染症法上の扱い	2	2類から5類に、インフルエンザ並の対応を	新型コロナの感染症法上の見直しについては、我が党がかねてより訴えております。直近では11/4衆議院予算委員会で浦野靖人衆議院議員が田村厚労大臣に、11/10の衆議院本会議で青山雅幸衆議院議員が菅総理に、12/2の参議院厚労委員会で梅村聡参議院議員が田村厚労大臣に対し質疑をしております。
	PCR検査等・保健所	2	国民すべてにPCR検査を、「ウィズ・コロナ」戦略で無症状感染者を放置したのが失敗	ご意見として承りました。 ・検査体制、発熱患者の対応体制について11/6参議院予算委員会で浅田均参議院議員が西村大臣、田村厚労大臣に対しそれぞれ質疑をおこなっております。
	個人への支援	12	障害者への特別給付金を、再度の全国一律定額給付金を、非正規雇用の女性の休業手当受け取り率が低い、緊急小口資金、個人向けの支援を	ご意見として承りました。引き続き党内議論を行なって参ります。 ・国民の暮らしを公平に支える経済対策として当面2年間を目途として消費税を一律5%に引き下げ検討する選択肢はないのかと1/21の衆議院本会議代表質問で馬場幹事長が質問しております。{消費税減税特別プログラム法案を前国会（第203回臨時国会）11/27付で参議院に提出済。本国会でも提出予定} https://o-ishin.jp/news/2020/images/a6b860a56b0ee1e88fae3b43178f526db614135a.pdf ・報道によると新型コロナウイルスの影響で休業を経験したパートやアルバイトで働く女性のうち、休業手当を受け取れたのは30.9%にとどまる為、政策の要望として100%にしてほしいとのご意見を頂きました。会社指示で休んだ、シフトが入らなかった、しかし会社が認めなかった、手続きをしてくれなかったというケースかと推測いたします。中小企業で働いていらっしゃる方向けに「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」という休業手当を補完する制度がございます。ご本人が対象でいらっしゃるかどうか確認をお願いいたします。問い合わせを受けるコールセンターがございます。会社経由だけでなく、ご本人からも申請することが可能です。 https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000646892.pdf https://www.mhlw.go.jp/stf/kyugyoshienkin.html#gaiyou
	事業者支援	16	緊急事態宣言の金銭補償、イベント関連業界（広報物制作）への支援、返済不要の資金支給（家賃補助・持続化給付金延長）、コロナ解雇と給付金の複数支給、休業支援金の不公平感（支給額算定）と関連業者範囲（飲食業だけでなく全ての業種、飲食大企業）、一都三県でも独自支援を、雇用調整助成金延長、政府から大家に家賃削減を申し入れよ、政府、県庁が料理人を雇ってエッセンシャルワーカー向けに無料か安く提供する仕組みを	ご意見として承りました。引き続き党内議論を行なって参ります。 ・1/26の衆議院予算委員会では、第3次補正予算案が緊急事態宣言の再発令を前提に編成されたものではないことから年度内に緊急に実施する必要のないものが多く入っていた為、持続化給付金、家賃支援給付金の申請期限延長で事業者を支援するべく編成替えを求むる動議を提出しました。 また経産省で緊急事態宣言に伴うイベント関連の対応措置（J-LODlive補助金）を行う旨発表がなされています。 https://www.meti.go.jp/covid-19/kinkyu_shien/ https://www.meti.go.jp/covid-19/kinkyu_shien/pdf/jlod.pdf?0120 ・休業支援金の不公平感については1/22参議院本会議代表質問で片山虎之助共同代表が「迅速給付のため、当面は定額給付でやむを得ないにしても、税務情報などと連携して売上や利益の規模に応じた額を交付すべきでは」と質問しております。 ・東京都が大企業の飲食店にも営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金を支給する発表をしております。 https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/attention/2021/0107_14118.html ・雇用調整助成金の特例措置は2/28まで延長されておりますが、3月以降の取り扱いについては1月末までに決定する旨、厚労省職業安定局厚生保健課に確認しております。
	Go To〇〇			

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
	治療薬ワクチン	5	イベルメクチンなど既存薬の使用を、アクテムラ、アビガン承認を、別のオプションを、ワクチン接種の管理プラン	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内でのワクチン開発、製造体制の強化について、4/27付新型コロナウイルス対策に関する提言（第4弾）で当時の安倍総理宛に申し入れを行い、また11/20参議院本会議では梅村聡参議院議員が菅総理に対し質問しております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/images/7b072aea6b6a44e369ad117d5695b135f3c9d1b4.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療現場での既存薬使用についても党内勉強会等でヒアリングを行なっております。 ・ワクチン接種の管理プランについては、1/21の衆議院本会議代表質問と1/26衆議院予算委員会で馬場幹事長が、参議院では1/22の本会議代表質問で片山虎之助共同代表が質問しております。
	予算・補正予算			
	入国制限緩和	4	ビジネストラックの停止を、入国時の検査を、	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネストラックの停止をというご意見ですが、多くの入国者はレジデンストラックでの技能実習生ですので、両トラックの停止をというご意見と察します。1/13政府決定により1/14午前0時より両トラックとも「特段の事情」がない限り、2/7まで入国停止となっております。「特段の事情」は日本人・永住者の配偶者または子、「医療」の在留資格で医療体制の充実・強化に資するもの等です。 <p>http://www.moj.go.jp/isa/content/930006067.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/5に我が党は政府与野党連絡協議会で「新型コロナウイルス対策に関する提言（第7弾）」を申し入れております。この中で拠点空港における検疫・検査体制の強化などに加え、入管法を改正し、入国者の外出自粛・追跡アプリの携帯等の義務化を申し入れております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2021/images/teigen7.pdf</p> <p>この提言をもとに1/14の参議院内閣委員会（閉会中）では高木かおり参議院議員が西村大臣に質問しております。</p>
	特措法・感染症法	7	店舗補償の議論を、罰則規定について、罰則不要、政府与野党連絡協議会でなく会議録の残る場所で議論を	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/5の政府与野党連絡協議会で「新型コロナウイルス対策に関する提言第7弾」を提出しております。この中で緊急事態宣言発令前と発令時の事業者に対する要請・命令・罰則・補償について提言し特措法改正を求めています。 <p>https://o-ishin.jp/news/2021/images/teigen7.pdf</p> <p>補償の必要性については政府与党内にある「受忍論」ではなく、十分な補償を行うことが極めて重要としております。</p> <p>1/22衆議院本会議及び1/26衆議院予算委員会でも馬場幹事長が『政府が「支援」に留まり「補償」ではないのは「受忍論」を採用しているからでは』と質問しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・罰則に関しては、1/21馬場幹事長記者会見で要請命令と経済的補償、罰則はセットにしないと法律自体の実効性が高まらないと考えている旨説明しております。 <p>https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/662839399</p> <p>加えて1/22浅田党政調会長の政府与野党連絡協議会後の記者会見で、「私権制限するわけですから補償とセットであるべき、ルールを守る人とそうでない人が出ることが予想でき、守らない人が得をすることがあってはならない。罰則は設けるものの行政罰的なものであり、必要最小限にとどめるべき」と考えている旨、説明しております。</p> <p>https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/662981671</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特措法改正について会議録に残る場所で審議をというご意見ですが、我が党は12/2自公維国対委員長会談において遠藤国対委員長から「新型コロナウイルス対策の閉会中審査についての申し入れ」を提出しております。この中で「新型コロナウイルス対策に関する特別委員会を新設・開催・審議を。それができなければコロナ対策を所掌する常任委員会の開催を」と申し入れております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/12/02/10236.html</p>
	緊急事態宣言	7	緊急事態宣言発出は不要、緊急事態宣言と補償・罰則（飲食店、医療従事者）、ロックダウン必要、今回の緊急事態宣言は抽象的	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言発出については1/22本国会参議院本会議の代表質問で片山虎之助共同代表が、「緩やかな対策の逐次投入ではなく、先手を取り、対策は地方の意見も聞きながら果敢で且つ弾力的に行うべきではなかったか」と質問しております。 <ul style="list-style-type: none"> ・1/5の政府与野党連絡協議会で「新型コロナウイルス対策に関する提言第7弾」を提出しております。この中で緊急事態宣言発令前と発令時の事業者に対する要請・命令・罰則・補償について提言し特措法改正を求めています。また医療機関に対する十分な経営保障についても提言しております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2021/images/teigen7.pdf</p> <p>医療機関に対する十分な経営保障について1/13衆議院内閣委員会（閉会中）で足立康史衆議院議員が、1/14参議院内閣委員会（閉会中）では高木かおり参議院議員がそれぞれ西村大臣に質問しております。</p> <p>そして1/21本国会衆議院本会議の代表質問で馬場幹事長が、1/22本国会参議院本会議の代表質問で片山虎之助共同代表が、特措法改正について質問しております。</p>

政策目安箱ご意見（2021年1月前半分）

大分類	分類	件数	寄せられたテーマ	内容
その他 (22)	政府与野党	22	菅内閣への不安・批判（危機感ない、市中に待機患者、後手後手対応）、自民批判、二階幹事長・二階派批判、二階幹事長が地方議員年金復活を画策、Zoom等に対する平井デジタル相批判、国会議員の会食ルール策定、玉木国民民主党党首のビジネストラック停止発言は妥当、新保守政党期待、政治家批判、政治家だけ会食・パーティーで国民は自粛か、政治家の会食ルール批判、政治家は議員歳費削減して苦しんでいる人に回せ	<p>ご意見として承りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方議員年金の復活については第200回国会衆議院予算委員会（令和元年10/11）で馬場幹事長が当時の高市総務相に復活反対の立場から質問をしております。 ・国会議員に関して我が党は前国会（第203回）11/27に議員期末手当削減法案を参議院に提 https://o-ishin.jp/news/2020/images/506160be42c4dcf192be81ffa931d072eb0c5198.pdf また9/10には削減した議員歳費から済生会本部に新型コロナウイルス感染症対策費として1500万円を寄付いたしております。 <p>https://o-ishin.jp/news/2020/09/11/10064.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会議員の会食ルール策定については、1/6にわざわざ時間をつかってやることではなく、それよりも特措法改正を馬場幹事長が発言いたしました。 <p>https://twitter.com/baba_ishin/status/1346662433696333824?s=20</p> <p>また同日、自公維国対委員長会談で遠藤国対委員長が「新型コロナウイルスの感染拡大が広がっている現状を受け、常会開催の前でも短期間で速やかに特措法改正を成立させるべき」との申し入れを行いました。</p> <p>https://twitter.com/osaka_ishin/status/1346703578329563137?s=20 https://twitcasting.tv/osaka_ishin/movie/660230892</p>
	学術会議			
合計		197		
総計		9499		(2019.1.22～)